

ダム技術センターの仕事紹介

(一財) ダム技術センター 技術第一部 安藤駿平 (派遣)

(前職場：上川総合振興局旭川建設管理部士別出張所)

1. 業務の種類

担当業務	主な作業	備考
① ダム事業の評価業務	ダム現場の現地調査、打合せの参加、報告書作成	担当ダム事業は、国事業では成瀬ダム (秋田県)、鳥海ダム (秋田県)、利賀ダム (富山県)、三笠ぼんべつダム (北海道)、都道府県事業では駒込ダム (青森県)、五名ダム (香川県)、佐幌ダム (北海道) ほか。
② 公益事業	「現地技術研究会」の開催・運営	R2年度は、安威川ダム (大阪府) にて実施。 R3年度は、新潟県ご協力のもと Web 開催。
③ ダム工学会	「若手の会」実行委員会の運営	R2年度は学生を対象とした「若手技術者勉強会 (Web セミナー)」を開催。

2. 具体的な業務内容

① ダム事業の評価業務 (佐幌ダム再生事業)

佐幌ダムは、上川郡新得町に位置する重力式コンクリートダムです。平成 28 年 8 月の台風により佐幌川下流の市街地・農地・畜舎などへの浸水や JR 橋の崩落等、甚大な被害が発生したことを受けて、ダム再生事業により佐幌ダムの堤体をかさ上げし、洪水被害の防止・軽減を目指しています。評価業務では、堤体かさ上げの地質調査・設計・施工計画について、検討内容が適切であるか、全国の先行ダム事例と照らし合わせることで検証します。



既設の佐幌ダム



② 公益事業 (現地技術研究会)

現地技術研究会は、都道府県並びに国土交通省地方整備局の若手ダム技術者が、建設・管理の現場に即した実践的なダム技術を習得するための研究会で、毎年開催しているダム技術センターの公益事業のひとつです。令和 3 年度は、新型コロナウイルス感染症の流行状況を踏まえ、ダム現場の現地見学を行う代わりに、Web による研修会を開催しました。新潟県のダム事業ご担当者様による講演では、ダム建設現場の映像を交えつつ若手職員でも理解しやすいよう丁寧にご説明いただきました。他県のダム現場の様子を見たり、現場をご担当される方に直接質問することができる貴重な機会だと思います。



Web 開催の様子 (令和 3 年 9 月)

3. ダム技術センターで働いた感想

ダム技術センターへ異動する以前は旭川建設管理部で河川改修工事の発注業務のほかに西岡ダムの管理を担当しておりましたが、ダム建設事業に関わるのは初めてでした。ダムには専門用語がたくさんあり、打合せ内容を理解するにはいつも苦労しております。ダム技術センターでは全国のダム現場を視察する機会が多く大変貴重な経験ができています。



八ッ場ダム視察時の写真

【安藤 駿平】

- 江別市出身
- 27 歳
- 身長 168cm
- 体重 57kg
- 好きな食べ物
→ ジンギスカン
- 好きな飲み物
→ ビール🍻

